

Oracle Advanced Compression :

高度な行圧縮の利点

Oracle Advanced Compression と高度な行圧縮について

Oracle Advanced Compression と Oracle Database を併用することによって得られる圧縮、パフォーマンス、データ・ストレージの最適化といった一連の堅牢な機能により、IT マネージャーは複雑な環境でも任務を遂行できます。Oracle Database のデプロイメントがクラウドまたはオンプレミスのどちらであっても、高度な行圧縮により、アプリケーションに変更を加えることなく、異なる環境において、堅牢なデータ圧縮機能を実現できます。

ORACLW ADVANCED COMPRESSION について

- テクニカル・ホワイト・ペーパー (こちら)
- データ・シート (こちら)
- 概念実証のガイドラインとベスト・プラクティス (こちら)
- 圧縮階層化とストレージ階層化の実装 (こちら)
- よくある質問 (こちら)
- 顧客事例 (こちら)
- Fortune 500 企業による Oracle Advanced Compression のテスト結果 (こちら)

高度な行圧縮を始めるまえに

オラクルの無料の Compression Advisor では、圧縮率を推測するためのとても便利なツールが用意されています。Compression Advisor については、OTN のサイト <http://www.oracle.com/technetwork/database/options/compression/downloads/index.html> をご覧ください。

利点：ストレージ要件の緩和とコストの削減

企業では、業務を円滑に遂行するために必要とされるデータの量が爆発的に増大しています。この継続的なデータ量の増大により、IT 管理者は管理上の難問に直面しています。最初で最大の課題は、急増するストレージ・コストです。ストレージ 1 MB あたりのコストはこの数年間で劇的に減少していますが、オンラインで保持する必要があるデータ量が激増しているため、ストレージはほとんどの IT 予算において最大のコスト要因の 1 つになっています。

Oracle Advanced Compression の一機能である高度な行圧縮は、非阻害型のデータ圧縮ソリューションです。通常、実装システムの動作を全くまたはわずかに阻害することなく、データベース表またはパーティションの全体的な必要ストレージ容量を 50 % 以上削減することができます。これにより、既存のデータベース・ストレージの利用効率を高め、アプリケーションの数が増えても新しいストレージの購入時期を延ばすことが可能です。Oracle Advanced Compression によってアプリケーション・データベースの合計データ・サイズが実質的に削減されるため、非圧縮型のデータベースに比べて必要ストレージ容量の増大速度を大幅に遅らせることができます。

*Advanced Compression のユーザー **Goodman Fielder** が、パフォーマンスに影響することなく 40 % のデータ・ストレージ・フットプリント削減に成功した例をご覧ください (こちらをご覧ください)。*

利点：問合せのパフォーマンスの向上

多くの Oracle Database ユーザーは、アプリケーションの背後で増大し続けるデータベースを抱えており、ビジネスの拡大に伴って管理対象データの量も増大しています。そのため、アプリケーションとデータベースの管理者は、継続的なデータの増大によってアプリケーションの問合せパフォーマンスが影響を受けていることを認識するようになってきました。

Oracle Advanced Compression のリンク

Oracle Advanced Compression OTN
ページ：
<http://www.oracle.com/technetwork/jp/database/options/compression/overview/index.html>

Oracle.com ストレージ
最適化ページ：
<https://www.oracle.com/jp/database/storage-management/index.html>

ストレージ最適化 ブログ：
<https://blogs.oracle.com/DBStorage/>

嬉しいことに、高度な行圧縮の利点は、ディスク上のストレージ領域を節約する以上の範囲に及びます。別の重要な利点として Oracle Database では、高度な行圧縮を使用する場合、データを解凍することなくメモリ内の圧縮データ（および索引）を直接読み取る/処理することができるようになります。これにより I/O 操作の数が減り、I/O 操作に関連したシステム・コール数が削減されるため、パフォーマンスが向上します。さらに、メモリを追加しなくてもより多くのデータが保存可能になるため、データベースのバッファ・キャッシュ効率が向上します。

データは、高度な行圧縮によって圧縮されると、あらゆる種類の操作（問合せやバックアップなど）においてその状態のまま維持されるため、トランザクションあたりの操作対象データの量も少なくなります。Oracle Advanced Compression ユーザーは一般に、データ圧縮によって問合せのパフォーマンスが2倍から3倍向上するのを体験しています。

Oracle Advanced Compression のユーザー **Samsung Welstory** が、Oracle Advanced Compression によって問合せを2倍の速さで実行できるようになった例をご覧ください ([こちらをご覧ください](#))。

その他の Oracle Advanced Compression のユースケース…

<https://www.oracle.com/technetwork/jp/database/options/compression/learn-more/index.html>

<https://www.oracle.com/search/customers> (“Advanced Compression”の検索)

Oracle Advanced Compression の概念実証の準備、または実行のためにさらに情報が必要ですか？

独自の圧縮 POC を計画し、その POC の結果を理解するのに役立つ、顧客の POC と洞察から学べるベスト・プラクティスに関する情報について詳しくは、Oracle ホワイト・ペーパーを参照してください。

<http://www.oracle.com/ocom/groups/public/@otn/documents/webcontent/3411538.pdf>



お問い合わせ

Oracle Advanced Compression について詳しくは、oracle.com を参照するか、+1.800.ORACLE1 でオラクルの担当者にお問い合わせください。

CONNECT WITH US



blogs.oracle.com/oracle



facebook.com/oracle



twitter.com/oracle



oracle.com

Hardware and Software, Engineered to Work Together

Copyright © 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. 本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。本文書は、その内容に誤りがないことを保証するものではなく、また、口頭による明示的保証や法律による黙示的保証を含め、商品性ないし特定目的適合性に関する黙示的保証および条件などのいかなる保証および条件も提供するものではありません。オラクルは本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクルの書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracle および Java は Oracle およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

Intel および Intel Xeon は Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC 商標はライセンスに基づいて使用される SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMD ロゴおよび AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices の商標または登録商標です。UNIX は、The Open Group の登録商標です。0518



Oracle is committed to developing practices and products that help protect the environment